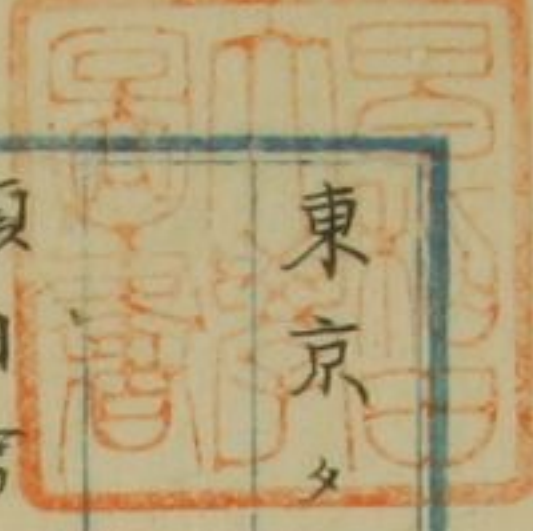


114  
A 113



東京々 イムス抄訳 三月廿七日刊行

太早計ノ國會論

頃日官中ニ於テ御評議ノ折柄 天皇陛下ニハ國會開  
設ヲ然ルベキ事ナリト仰出サレシトノ報ヲ一タビ毎日  
新聞ニ掲載セシヨリ東京ノ諸新聞ニモ續々之ヲ抄出シ  
間多少ノ詳説ヲ加フル者モアリシガ又中ニハ參議ノ中  
三名ハ此議ヲ拒ミ固ク其不可ナルヲ論セラレタリトテ  
其顯官ノ姓名ヲヤハ措カニ掲出セシ新聞モアリタリ然  
ルニ其 天皇陛下ノ御認許アラセラレタリト稱フル  
國會ノ性質、憲法、目的、特權、等ノ如キハ毫モ確ナル報道ヲ  
得ス蓋シ國事ニ関スル傳説ハ今ニ於テ放棄ニ違アラサ  
ル程ナレハ我日本ノ同業記者モ常ニ其說ノ信スベカラ  
サルヲ知リテ容易ク之ヲ用ユルヲナキニ時勢ノ然ラシ

大正十一年四月  
張侯爵寄



アル所斯ル意外ノ報道ヲ得テ之ヲ尋常ノ巷説ト差別ス  
ルニ至リシハ其理ナキニ非サレバ然レ此事タル極ノテ  
重要ニシテ先其音察ヲ詳カニスルニ非サレバ輕々シク  
信ヲ置キ難キガ故ニ余輩勉メテ探訪ノ力ヲ尽セシニ果  
シテ前ニ云フガ如キ評議ハ、聖上臨御ノ席ニ於テスル  
者ニ非ス又、聖上ノ俄カニ國會開設ノ企圖ヲ御許容在  
ラセラレシト云ガ如キ絶ヘテ之ニ似タル御詞スラモ有  
リタルコトナレトノ確報<sup>得</sup>此ニ正シク其実ヲ証明スルヲ得  
タリ斯レバ某ノ參議ノ意見ニ附會ヤシ傳説ノ如キハ固  
コト無根ノ造言タルヲ論ヲ待タズ若シ又レ衆參議ヲ合  
セテ詳カニ其意見ヲ問フヲ得ンニハ必スヤ衆負一齊ニ  
斯ル急進ノ釐革ヲ拒絶セラルベキハ實ニ信據スルニ餘  
リアル事ニシテ政府ノ企圖スル所始ヨリシテ漸次ニ代

該政体ノ法ヲ起スニ在ルコトハ世人ノ固シ信シテ疑ヲ容  
レサル所ナリ且夫レ外國諸新聞スラモ妄リニ非理ノ臆  
評ヲ逞フスルヲ得サリシ彼ノ、天皇陛下ノ御誓文ニ  
モ國中教化ノ法善子ク行ハレ社會ノ發達スルヲ<sup>待</sup>此法ヲ  
行ハル、ノ意ヲ明カニ示サレタレ尙モ方今ノ形勢ヨ  
リハ尙モ幾層カ知識ヲ開暢シ適宜ノ基礎ヲ設クルニ至  
ラサル前ニ於テ俄カニ國家ノ重任ヲ奉テ未熟不鍛練ナ  
ル政法ニ委任スベシトハ曾テ誓ハセ給<sup>ハ</sup>ガリシナリ余  
輩ハ各府縣ニ民會ヲ開設セラレシト又逐時都下ニ各地  
方官ノ會議ヲ開カル、トヲ以テ既ニ第一着ノ歩ヲ進メ  
ラレタリト<sup>思</sup>思考スル所ニシテ方今日本ノ司政家ガ有  
スル如キ權利ヲ帶スル主治者ニシテ其人民ノ知識ヲ養  
成シ之ニ自由ノ方法ヲ与ヘ之レニ信任ノ大事ヲ委ヌル



「斯ノ如キ者ハ未タ曾テ之レアズト云フモ決シテ大  
過ナカルベシト思フカリ  
國會ノ論題ハ余輩既ニ本紙上ニ於テ數回之ヲ論辨シテ餘  
難ナケレバ又更ニ贅言スルヲ要セス唯簡短ニ前論ノ主  
意ヲ証明スルヲ以テ足レリトス余輩ノ持論トシテ常ニ  
固守スル所ノ意見ハ當帝國ノ内政ニ就テ一々外人ノ批  
評ヲ受ケンニハ須ラク至極ノ謹慎警戒ヲ以テ行ハサル  
ベカラズトスルニ在リ蓋シ外國出生ノ人トイヘ氏其字  
ヲ所深遠微妙ノ奧義ヲ究リ其經驗スル所著實ニシテ廣  
ク一般ニ涉リ能ク精密ノ省察ヲ尽シテ誤リナク如何ナ  
ル紛乱微細ノ件又如何ナル危險ノ問題トイフモ安意シ  
テ之ヲ商談スルヲ得ベキガ如キ者ハ絶ヘテ一人モ之アル  
ナレ故ニ偶、其人ヲ撰ミテ日本人中ニ容レ特ニ其權利ヲ

許シ確キタル契約ヲ定メテ直接ニ商談スルヲ命セラル  
、アリトモ徒ラニ爭論ヲ起スニ外ナラズシテ而モ其意  
見タル唯能ク吾國ノ隆盛幸福ヲ致スノニニ非ス返テ一  
國ノ衰頹ヲ招クニ至ルベキモ知レス必竟之レト談ヲ同  
フセント謀ラル、モ夫ノ浮薄輕率ナル橫濱新聞記者ニ  
於テ常ニ見ル如ク往々其罪ニ當ルヲ思ハズシテ偏ヘニ  
平素ノ執拗心ヲ吐露スルニ追キサルナリ、サレバ事務ニ  
通曉セシ旨識者ハ當帝國ノ命運ノ係ル所ノ政治家ガ其  
名譽ヲ重ジテ深ク事理ヲ考究シ釐革ヲ行フニ當テハ徒  
來政府ノ信任ヲ享有セシ傳説習慣ヲ尽ク一掃スベキハ  
必然ナルガ故ニ断然此事ヲ執行スル前ニ於テ<sup>深ク</sup>智慮具識  
ヲ貯ヘ以テ充分ノ商談ヲ尽サル、ヲ見ンテ望マサル  
者ナク此重要ナル問題ニ就テ其意見ノ相合ハザルヨリ



遂ニ内閣ノ分裂ヲ来ス如キ事ハ亦決シテ之レナカラシ  
ク保証スル者ナリ近頃又行政ヲ分テ<sup>其事務</sup>ヲ獎勵セントス  
ル真正ノ進化ノ確乎タル意見ヲ聖上ニハ御許容アラセ  
ラレズト云フノ説アリ是レ固ヨリ信ヲ置クニ足ラサル  
ノ妄説ナリト虫氏或ハ内閣參議ノ中ニ於テ不同意ノ人  
アルヨリ遂ニ此説ヲ起メシラント臆測スル者ナキニ  
非ス願フハ此疑團モ亦度ニ無根ノ造言ニ出タルヲ知ラ  
ンテ唯々方今ノ要務トスル所ハ國民ノ智識ヲ進メ國  
威ヲ皇張スルノ確乎不動ナル政略ヲ固守シ決シテ<sup>本</sup>早  
計ノ急進論ヲ許サ、ランテ守ルニ在ルノミ